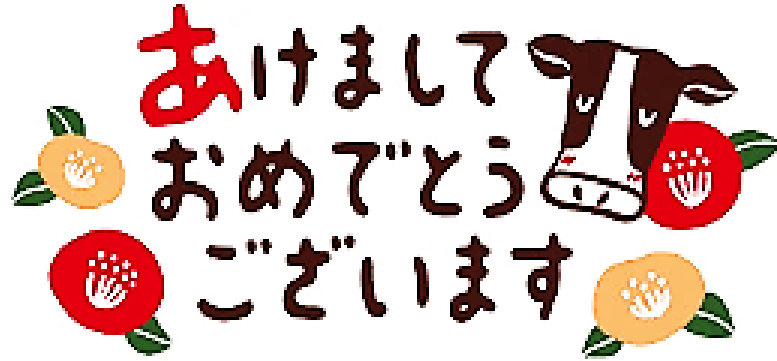


本の

さんぽみち

2021年 1月号



今年もよろしくお願ひいたします。

昨年さくねんは、新型しんがたコロナウィルスによる影響えいきょうで、思うようにおもならないこともいっぱいあったけど、一人ひとりがひとり気をつけることでいろいろなことを乗り越えていけるとしんじたいです。みんなでみんな心こころを一つにして、今年ことしが少しでもすこ良い年になるようにしましょう。

「疲れたなあ…」「どうしたらいいんだろう？」という時は、ぜひ図書館へ！ヒントになる本もたくさんあるはずさかです。いっしょに探しましょう。読書どくしょは気持ちきもちを切り替かえる時ときにも役立やくだちますよ。



ふゆやす まえ か 冬休み前に 借いた本は…

1/21(木)までに 全部 返しましょう！

3学期 最初の 図書館の時間に 返せなかった本も、休み時間を使って 自分で 返しに来てください。

全部の本を 返してからでないと、次の本を 借りることは できませんよ。

* [図書館開放]でうちの人が 借いた本も、いっしょに返してください。



うしとし 丑年に…こんな本はありますか？

Eリ『十二支のひみつ』によると、本当は 丑年が 十二支の最初に なるはずだったんですよ。それがなぜ？については、自分で 調べてね。

さて、「牛」というと、何を 思い浮かべますか？

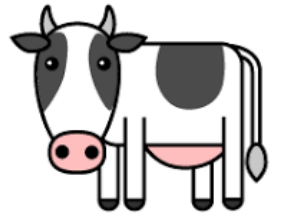
鳴き声は「もお～」ですよ。実は Eワ『うしはどこで

も「も～！』』によると、牛が「も～」となくのは 世界共通なんだそうです。犬は日本では「ワウ ワウ」だけ、イギリスでは「バウ ワウ」など、いろいろ 違うのにおもしろいですね。

そして、牛といえば…やっぱり 牛乳！そして牛肉でしょうか。640『ぼくじょうにきてね』や、610『肉牛の絵本』、648『うちは精肉店』も ぜひ 読んでほしいです。でも、牛は それだけじゃなくて、いろいろなことに 役立っているけど、知ってますか？Eコ『きみの家にも牛がい

る』や Eウ『も～お～うしです！』を読むと、身の回りの物を見る時に、これも！こっちも!!と 驚くはずですよ。

もちろん 牛が出てくる お話の本も あります。まず、Eリ『はなのすきなうし』です。闘牛で有名な スペインで育った 牛のフェリツ ナドは、大きくなって 闘牛場へ連れていかれました。でも、フェリツ ナドは、静かに 花の匂いを 嗅いだりすることが 好きだったんです。さて、どうなるのでしょうか？



他にも Eヴ『ガラスのうしモリ—のおはなし』シリーズや Eウ『ウクライナの昔話 わらのうし』、913

キ『3年2組は牛を飼います』なども あります。自分でも 探して 読んでみてね。

また、3.11 までにEモ『希望の牧場』も ぜひ 読んでおいてください。そして、その後の 牧場の様子について 調べてみてくださいね。

おはなしの会〈ひまわり〉さんの おはなし会

たいへん残念ですが、新型コロナウイルス対策として、

1月のおはなし会は、中止になりました。

2月には、おはなし会ができるようになるといいですね。

